とんぼ通信 141号

８月号
とうぼ小児科医院
臼杵市港町東１４組　TEL63-5811
HP ｱﾄﾞﾚｽ　http://www.tobobaby.com
発行責任者：　東保　裕の介
発行年月　：　平成２８年８月

今年の夏はヘルパンギーナが流行しています！

今年は全国的に昨年を上回る勢いでヘルパンギーナが流行しています。日本では毎年５月ごろから増えはじめ、７～８月にかけてピークをむかえます。毎年夏には流行る病気ですが、どのような病気なのでしょうか。今回はヘルパンギーナの症状や、治療法についてのお話しです。

Q1. どんな病気ですか？

6 月～8 月に乳幼児のあいだで流行する夏かぜの一種で、2～3 日つづく高熱とのどの痛みが特徴です。
※ヘルパンギーナの名前の由来は、ドイツ語で herpes（水疱）ができる angina（扁桃炎）→ herpangina（ヘルパンギーナ）と名づけられました。

Q2. 原因は？

エンテロウィルスに属するコクサッキーウィルスが主な原因です。ほかにエコーウィルスなどが原因となります（原因となるウィルスは多く、何回もかかってしまうことがあります。）

Q3. 症状は？

38～40 度の発熱があり、同時にのどの奥に水ぶくれができて、それが破れるためのどが痛くなります。ひどいときは水分も飲めなくなり脱水症になることがあります。

Q4. 診断は？

ヘルパンギーナの迅速検査はありませんので、熱と特徴的なのどの様子から診断します。

Q5. 治療は？

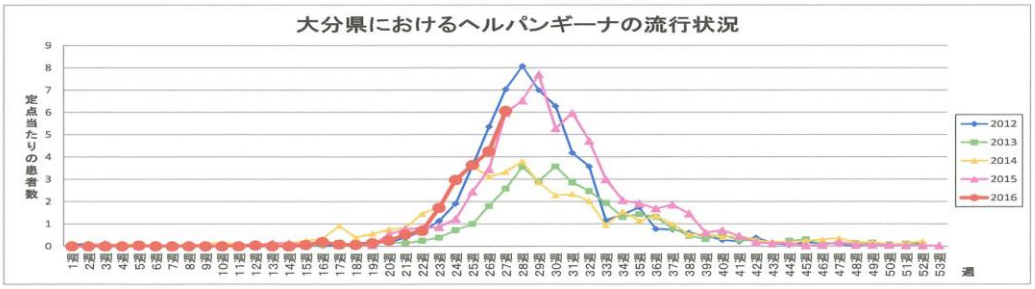
ヘルパンギーナの原因ウィルスに有効な薬はありませんので、症状を抑える治療が中心です。熱やのどの痛みをおさえる薬を処方します。水分もとれず脱水がある場合は点滴による治療をします。

Q6. 合併症はありますか？

ヘルパンギーナは基本的には数日のうちに治癒する疾患ですが、まれに髄膜炎や心筋炎を合併することがあります。

Q7. 登園・登校の目安は？

熱が下がって、のどの痛みがとれて食事もとれるようになれば登園・登校してかまいません。

Q8. 感染予防は？

飛沫や手指によって感染するので、手洗いや手指消毒、うがいなどが基本的な予防になります。便やおむつを扱った際もしっかりと手洗い、手指消毒をしましょう。